

しずおかの景気動向

平成22年 1-3月期

当会議所では、このほど平成22年3月に実施した管内企業の景況調査の結果をとりまとめました。

この調査は会員企業の景気動向を把握し、経営の参考にさせていただくことを目的に四半期ごとに実施しているものです。

■調査方法

郵送によるアンケート方式

■調査対象

- 製造業
- 小売業
- サービス業
- 卸売業
- 建設業

葵区・駿河区：計400社

（回答状況264社）
（回答率66.0%）

清水区：計250社

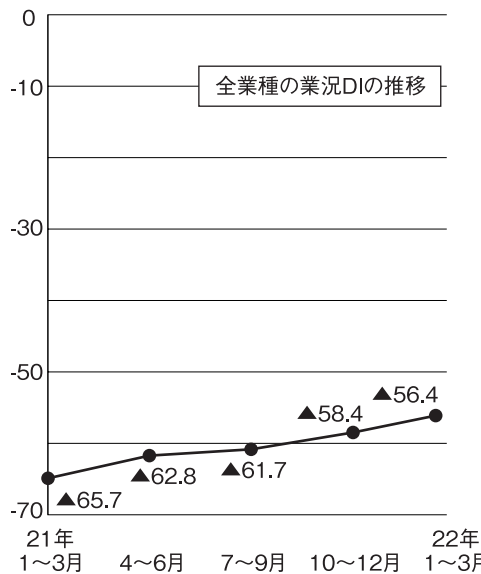
（回答状況158社）
（回答率63.2%）

※DII「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値。

葵区・駿河区

1 前期と比べて

全業種の業況DIIは△56.4で、前期（平成21年10月～12月期）の△58.4と比べ、マイナス幅は2.0ポイント縮小し、4期連続で緩やかな業況の回復傾向を示しました。



2 来期の見通し

来期（平成22年4月～6月期）の見通しDIIは全業種で△46.6で、今期に比べマイナス幅が9.8ポイント縮小し、業況はさらに回復するという結果となりました。

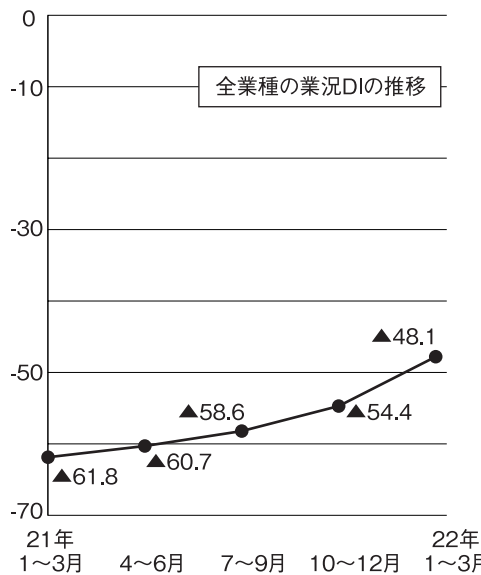
3 経営上の問題点

製造業は「需要の停滞」、建設業は「官公需要の停滞」、卸売業は「需要の停滞」、小売業は「販売単価の低下・上昇難」、サービス業は「需要の停滞」を経営上の問題点のトップに挙げる結果となりました。

清水区

1 前期と比べて

全業種の業況DIIは△48.1で、前期（平成21年10月～12月期）の△54.4と比べ、マイナス幅が6.3ポイント縮小しました。業種別に見ると、製造業ではマイナス幅が拡大したものの、建設業、卸売業、小売業、サービス業ではマイナス幅が縮小し、業況の改善傾向を示しました。



2 来期の見通し

来期（平成22年4月～6月期）の見通しDIIは全業種で△41.1と今期に比べマイナス幅が7.0ポイント縮小するという結果となりました。

3 経営上の問題点

製造業は「需要の停滞」、建設業は「民間需要の停滞」、卸売業は「販売単価の低下・上昇難」、小売業は「利用者ニーズの変化への対応」、サービス業は「需要の停滞」を経営上の問題点のトップに挙げる結果となりました。